

12月21日(水)

令和4年(2022年)

発行所
〒112-0002
東京都文京区小石川5-4-4
コーティングメディア
編集・印刷・販売人 コーティングメディア
電話 東京 03-5844-8750
長野 0261-20-56573
http://www.coatingmedia.com

Paint & Coatings Journal

ペイント&コーティング ジャーナル

優れた遮熱性能が実現されたNETISへの登録が完了しました！
環境対応型高遮熱・高反射・高断熱塗料
遮熱レゾネコ
NETIS 登録番号: KT-220118-A 特化型対応
KANSAI PAINT 関西ペイント株式会社 www.kansai.co.jp
東京: Tel: 03-5732-7791 大阪: Tel: 06-6203-5015

健康増進、学習効果、新次元の塗装ビジネス始動

「チャコールペインター」育成へ アーテック/西田塗料

これまでの概念を超えた新たな塗装ビジネスが広がろうだ。塗面全体に微弱な電気を流すという従来にない塗装システムにより、居住空間を劇的に改善。注目の内装仕上工法に塗装店がアプローチできるようになる。健康増進、免疫力アップ、学習能力向上など居住者に響く機能で新たな次元のビジネスを狙える塗装システム。その施工を担う「チャコールペインター」の育成が始まった。

今回、塗装業界への普及を図る塗装システムの名称は「SUMICAS 工法」。塗料開発企業のアーテック（長崎県大村市）が開発している工法で、住宅や公共施設での採用など既に15年ほどの実績がある。今回、塗装業界向けの代理店として塗料ディーラーの西田塗料（愛媛県松山市）が認定施工店研修をスタート、広く塗装店がアプローチできるようになった。

「SUMICAS 工法」は、炭を主原料にした木炭塗料「ヘルスプロテクト」と、同品を塗装した塗面全体に微弱な電気を流すデバイスで構成されている。空気質の清浄効果など塗料自体の機能に加えて、塗面から発する電気の力でさまざまな効果を発現。人に能動的に働きかけて健康増進などの効果を引き出す。吸放湿や抗菌・抗ウイルスなど受動的な機能にとどまっていた従来の塗装とは別次元の塗装システム。

メカニズムはこうだ。まず、微粉砕した炭を主原料にした木炭塗料の「ヘルスプロテクト」は、活性炭の「キムコ」と同じようにニオイを強力に吸着し、ホルムアルデヒドなど害のある化学物質も吸着。更に、高温焼成された炭を主

原料にしているため、偏炭炭と同じように塗膜が電気特性を帯び、吸着したニオイや化学物質を電気分解して無臭化、無害化するという。

加えて、塗膜が発現するこの効果を助長するのが電流発生デバイス（装置）の「SUMICAS」。30cm 四方大の同デバイスを塗装面に設置し、導電性のある木炭塗膜に微弱な電流を流して塗面全体からマイナスの電子（イオン）を発生させるのがこの塗装工法の画期的なところだ。

塗膜から発したマイナスイオンは、チリやホコリ、臭い成分や化学物質などプラスに帯電した室内の有害物質を塗膜に引き寄せ、プラスとマイナスが中和して無害化。マイナスイオンリッチな室内に、いわば物理的な力で変えるというメカニズムだ。

マイナスイオンは人の免疫力を高めることで知られており、「SUMICAS 工法」による室内空間は、がん細胞を攻撃する免疫細胞「ナチュラルキラー細胞」が活性化することが川崎医科大学との臨床試験で実証された。

免疫力アップと空気質の清浄化機能は、他にもさまざまな面で人の健康

に働きかける。同工法を自宅で採用した居住者からは、「アトピーや鼻炎、花粉症などのアレルギー症状が緩和された」「不眠症が改善された」「疲れにくくなった」などの体験談が多く寄せられている。

更に今般、「SUMICAS 工法」で塗装された部屋が、人の学習能力を高める機能があることを、長崎大学・篠原一之教授の実験によって実証された。

実験では、SUMICAS 工法を施された部屋にただで「覚醒レベル」と「選択的注意能力」、いわゆる「やる気スイッチ」や「集中力」が高まるということが認められたという。健康増進に加え勉強もはかどる塗装工法のタイトルも獲得、商品力に磨きがかかった。

チャコールペインター研修スタート

「SUMICAS 工法」はこれまで、ハウスメーカーや工務店など住宅での採用の他、クリニックや老健施設、学校、幼稚園など安全安心を求める施設で多数採用。ハウスメーカーでは同工法を寮室の標準スペックとして売り出すなど人気が高まっている。

そして今般、「SUMICAS 工法」を塗装店が扱えるようにする。これまで塗装業界には展開していなかったが、塗装業界向けの代理店・西田塗料が動いたことで実現した。



西田塗料は、「SUMICAS 工法」を扱える「チャコールペインター」の認定施工研修を今秋からスタートした。高知、熊本、福岡、長崎、宮崎での研修を終え、今冬には北海道や東北でも予定。来年の秋ごろまでに全国100社ほどの認定施工店を組織したい考えだ。

研修会では、アーテックによるオンラインでの座学（商品研修）と、西田塗料担当者による実技研修が行われる。実技では、適切な下地のつくり方や導電性を確保するための膜厚管理、塗膜の縁が切れた箇所の面のつなぎ方、塗膜の電気抵抗値の測定方法など同塗装工法ならではの実技研修が行われる。研修後に試験を行い、認定する流れだ。

研修会の実施は出張研修を基本としており、「日時、会場、実費などは応相談で対応していく」。連絡先は西田塗料担当・西田泰司氏（089-973-1131）。

西田氏は、「塗装店様の新たなリフォームメニューとして「SUMICAS 工法」を提案したい。いかに適切な塗膜を形成できるかがこの工法の肝で、まさに塗装店様の力量が発揮できるリフォームだと思う。木炭塗料のチカラ、物理的にマイナスイオンを発生する塗膜など従来の概念にない新鮮さと、居住者の健康、住み心地、学習効果などいくつもの魅力が詰まった工法。塗装店様の新たなビジネスにつながれば」とし、普及を進めていく。

主な内容

- ▷ 2面 読者・大津市内で自動運転バスを走行 LIDAR 認識塗料の実証実験 ニッペ・インダストリアル
- ▷ 3面 丁寧な情報発信で顧客満足高める ヤブタウィンターフェア 2022
- ▷ 4、5面 環境負荷低減へ、技術開発が加速 第5回コーティングジャパン
- ▷ 6、7面 2022年10大ニュース
- ▷ 8面 第31回塗料産業フォーラム

「楽しむ」と「愉しむ」。どちらも「たのしみ」と読むこの言葉には、微妙な違いがあるらしい。与えられたシチュエーションを「楽しむ」受動的なニュアンスと、自分の心持ちで物ごとを「愉しむ」能動的なニュアンス。という

訳で、今年は「愉」にしてみた。所属している製販協会の勉強会で、自分にとっての「今年の漢字」を年初に発表することになっている。2022年1月にあった今年初の勉強会で、小園が発表した漢字は「愉」。「最も楽し、仕事もプライベートも愉しむくらいの余裕を持とう」とまあ、そのような意味で選んだのだが、や

はり上手にはいかない。発想が浮かばない、文章が上達しない、行動が遅い、いつも仕事に追われてドタバタ、右往左往。膝が痛い、体重は増える、酒量も増える、コロナは続く、物価も上がる…と、公私ともに「愉」の境地にはほど遠い。ままだ1年が過ぎてしまった。日本漢字能力検定協会が先ごろ発表した今年の漢字「戦」と

はまた違った意味で、心の中の戦いは続いた。さて、年明けの勉強会で発表する漢字である。来年の自分のテーマをどの字にするか。もう決まっている。まずは今年1年の反省に立ち、改めることから始めなければならないので「改」である。あれ？この字、前にも使ったことがある！反省の多い年の漢字が続いている（笑）

カーテンウォール改修用

ローラー塗装でメタリックの輝きを——

Vフロン#200スマイルRB メタリックシステム

V-FRON #200 SMILE RB METALLIC SYSTEM

- ✓メタリック感の両面をローラーおよび刷毛塗り可能
- ✓メタリックの誤りムラが発生しない
- ✓耐候性・耐久性に優れる
- ✓塗料用シンナー希釈タイプ「スマイル（溶剤）タイプ」
- ✓幅広い材料に塗装可能

…知りに申し込ませてください
お気軽に
DNT
DAI NIPPON TORIO

大日本塗料株式会社

●大 東京 06-6266-3117 ●東 京 03-5710-4503
https://www.dnt.co.jp/ ●名古屋 052-332-1791
イー・エス・シー
塗料相談室フリーコール 0120-98-1716